

7月東京盆出荷向け黄色小ギク新品種候補「ひたち24号」の育成

農業総合センター 生物工学研究所、園芸研究所

【研究の概要】

小ギクは本県切り花の主力品目であり、県内の切り花品目での産出額は第1位、全国的にも栽培面積は第2位、出荷量は第4位（いずれも平成31年度）のシェアを占めています。主な用途は仏花用で、市場からは盆と彼岸の物日出荷が求められています。そのため、生産現場からは茨城県の気候で物日出荷ができ、白さび病の発生が少ない品種の育成が要望されています。これを受けて、7月の東京盆向け出荷の黄色小ギク「ひたち24号」を育成しました。

【研究内容】

平成29年に「常陸サマーライト」（7・8月向け黄色）の自然交雑から得られた実生より、平成30年に開花時期・花色・草丈・白さび病耐病性を基準に一次選抜しました。その後、平成31年度～令和5年度にかけて所内で栽培し、特性を調査しました。

また、生産者からは現地適応性、市場・流通関係者からは市場性について評価を得ました。

【研究成果】

- 花色は黄色です。通常の露地栽培での採花時期は7月上旬であり、7月東京盆出荷に適します。
- 出荷規格（2L：80cm）を満たす切り花長を安定して確保できます。
- 葉色が濃くてツヤがあり、白さび病発生は極めて少ないです。
- 現地適応性試験において生産者からは、作りやすさ・病害虫や生理障害の少なさ・草姿が高く評価されました。また、市場・流通関係者からは花色・葉色・ボリューム感がとても良く、頂点咲きで花束加工しやすいと評価され、生産者・市場ともに総合評価が高い新品種候補です。



写真 「ひたち24号」

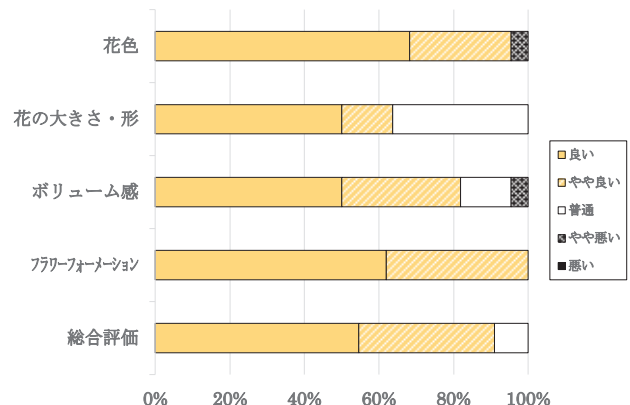


図 市場性評価結果

表 「ひたち24号」の特性

試験地	系統/品種名	定植日 (月/日)	採花ピーク (月/日)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	頂点咲き割合 (%)
笠間市	ひたち24号	3/29	7/7	99.0	80.6	100
	精こまき		6/23	84.8	76.7	40
石岡市	ひたち24号	4/11	7/4	98.4	58.0	100
	精はぎの		6/30	93.0	64.8	100
土浦市	ひたち24号	3/30	7/3	85.2	73.2	100
	夏ひかり		6/29	84.6	57.2	100
筑西市	ひたち24号	3/21	7/3	104.2	72.2	100
	常陸サマーライト		7/2	109.0	61.8	80
平均	ひたち24号	3/30	7/4	96.7	71.0	100

*全試験地でマルチ使用、各試験地の下段は現地の慣行栽培品種

【将来の展望】

- 市場関係者及び生産者からの評価が高いことから、主要な7月向け黄色品種の1つとして期待されます。
- 将来的には年間約5万本の出荷を見込んでいます。
- 物日出荷による単価向上や、白さび病の発生低減による収量増加等により、生産者所得の向上が見込まれます。